

## 春の遠足

### 4年ぶりに葛西臨海公園へ！

5月12日、春の遠足で、葛西臨海公園へ行ってきました。葛西臨海公園での遠足は実にコロナ前の2019年以來4年ぶり。天気にも恵まれ、絶好の遠足日和だったこの日、在校生全員でバーベキューとゲームを楽しみました。

### コロナ後 初のバーベキュー

まずは、腹ごしらえ。炒飯やインドミーなど、バラエティーに富んだ世界各国の料理をクラスごとに作っていました。手際の良い、シェフのような学生たちがクラスを中心となって、みんなで協力しながら作っていました。

他のクラスの料理を食べに行ったり、たくさん話したりして、クラスの枠を飛び越えて交流を深めました。

コロナ禍の3年間、JETでは飲食を伴うイベントは行ってきませんでした。今回は久しぶりに自分たちで調理したものをみんなで食べましたが、会話が弾み、仲良くなるのがとても速い！「食」からたくさんのコミュニケーションが生まれました。



### 昼食後のゲーム大会も復活

昼食の後は2つのゲームで大盛り上がり！お馴染みの借り物競争では、お題をめぐって激走しました。



↑「紙立ち」。音楽が流れている間は、3人4脚で歩き続けて、音楽が止まったらみんな一斉に走り出します。嵐の前の静けさ…!?

遠足は、各クラスの代表者がスタッフとなり、学生主体で行っている学校行事です。今回スタッフを引き受けてくれたみなさん、どうもありがとうございました。

笑顔いっぱいのリラックスした学生の顔に嬉しくなりました。学生の仲が一層深まった遠足となりました。(石津)



## 第28回 校内スピーチコンテスト

7月28日、ハイライブラザがいたばしにて校内スピーチコンテストを開催しました。

開会式では、北区の山田加奈子区長と衆議院議員の高木啓先生がお見えになり、学生たちにエールを送っていただきました。



↑山田加奈子区長

### 最優秀賞はマレーシアのルイさん

出場したのは各クラスの予選を勝ち抜いた5か国15名。

最優秀賞はLWEE XIAO YU EVELYNさん(マレーシア)が獲得しました。演題は、「留学を通しての自分の変化」。JETに入学してから、様々な背景を持つ人と接する中で得た気づきや自身の成長について、一言一言に気持ちを乗せて語りました。優秀賞には、郭慧欣さん(香港)、NG KAI JIANさん(マレーシア)、梁伯榮さん(台湾)の3名、努力賞にはTHAVONPHAN SIRILUKさん(タイ)が選ばれました。また、高木啓先生がご厚意でワインをご用意くださり、特別賞として、郭香瑩さん(台湾)が表彰されました。



↑ 出場者15名。高木啓先生(右)と山口校長(中央)と記念撮影

コンテストを盛り上げるポスターは、陳凱琳さん(香港)、李牧庭さん(台湾)、郭慧欣(香港)が作成してくれました。

入賞者には、後援会から賞品が贈られました。最優秀賞は東京ディズニーリゾートのペアチケット。優秀賞は、①サンシャイン水族館のペアチケット、②読書セット(ブックカバー・しおり・読書灯)、③和セット(輪島塗のお椀とスプーン)のいずれか。努力賞は「先生のふるさとの一品」。今年は山下先生セレクトで、横濱ハーバーと崎陽軒のシウマイでした。また、今年も輪島塗のセットは漆工芸作家の垣内幸彦様からご提供いただきました。

スピーチの後で、サマーコースの学生たちによる発表も行われました。国のおすすめの観光地について、ペアごとに元気いっぱい紹介してくれました。(郷野)

#### 【2面に掲載】

- ・最優秀賞 LWEE XIAO YU EVELYNさんの原稿
- ・全出場者と演題の一覧

【第28回校内スピーチコンテスト最優秀賞】

## 「留学を通しての自分の変化」

LWEE XIAO YU EVELYN (D クラス)

皆さん、こんにちは。D クラスの Lwee Xiao Yu Evelyn です。マレーシアから参りました。本日、私は留学を通しての自分の変化についてお話ししたいと思います。



多くの人と同じように、私は初めて慣れた環境から飛び出し、海外でのひとり暮らしに挑戦しました。日本で生活するためには重要な手続きをすべて自分でやらなければなりません。初め私はややぎこちない日本語でなんとかしましたが、今となっては日本語で話すことに慣れてきました。このことに対し、私は嬉しく感じます。なぜかという、昔から自立することはおろか、食事の注文すら自分でできないほどの人見知りだったからです。こんな私が素直に人にいただきます、ごちそうさまでした、美味しかったですと礼儀正しく伝えられるようになりました。このように自立できることはなにより嬉しいことです。

また、その中で、段違いと言えるほどの変化もありました。それは、他人の前で発表することです。先月、授業で自分が好きな本や映画の紹介をする機会がありました。人前で発表する時失敗した記憶がありすぎて思わず抵抗感を持ちましたが、きちんとやらなければなりませんのでたくさん練習しました。当日私はゆっくりと話をしました。不思議なことにあまり緊張しませんでした。完璧とは言えないけれど、自分が言いたいことが全部言葉になって他人に伝えられた発表は初めてで心が震えました。「なんだ、自分も普通にできるじゃん」と自分の進歩を誇りに思いました。

これを皮切りに、私は自分の好きなものをいつでも言えるようになりました。例えば、「おいしいごはんが食べられますように」という本が好きです。なぜなら、当たり前だと思いでいたことがそう思わない人の視点から見ればこんなに違いが生まれるんだということや、リアルで不穏な社会を言語化できるなんてすごい作者なんだなど、このように他人に説明することに楽しさを見つけたからです。

それから、私は留学の中で多くの人やイベントにかかわり、異なる背景を持つ人と出会って、人との接し方を知りました。高校と違って学生たちの年齢の範囲が広い故、さまざまな人との距離感を掴むことを学べます。そのおかげで、違う国の文化や言葉についての知識が身につけてすぐく勉強になりました。同じ場所で同じ目標を目指すことにも連帯感を感じました。

それ以外にも、私は多くの物事に挑戦するようになりました。これは留学生活の中で一番大きなメリットだと思います。なにもかも一期一会であるため、気が乗らなくてもやってもいいなと思うことができます。たとえば、私は早稲田大学の学生たちと交流するイベント SHS に参加しました。丸一日日本人と接

する機会はなかなかないのでこのめったにできない体験を経験として吸収し成長できました。行動しないとにも始まらないという言葉に心掛けながら努力することが私の主張になりました。おかげで私は失敗を恐れず、常に向上心を持つようになりました。バイト探しからひとり旅にまで挑戦できて自分の人生が豊かになった気がしました。したがって、未来を壊すような行為でない限り、やりたいことを勇気を出してやれば決して損はしないと私は強く思います。

この留学を通して私は行動をする前に自分一人で考えて決める習慣を身につけました。私が前言ったように留学する際自分自身で責任を取るべきです。すなわち自分の選択による結果を背負わなければなりません。特に未来に至る道における選択は非常に重要になってきます。だからこそ私は自分一人の時間を大切にしています。一人になると思い込みがちになりますが、それ以上にもっと深く考えて、より多様な可能性が生まれると思います。きちんと悩んで、全力を出してから失敗してもきつとその失敗には価値があります。

アメリカの哲学者と心理学者であるウィリアム・ジェームズはこう言いました。「心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」私はやっこの言葉の意味を実感できました。こういったささやかな変化がきつと日常生活に影響を与え、やがて未来への大きな一歩に繋がるでしょう。皆さんもぜひ留学をきっかけに自分の人生をよりいい方向に変えてみませんか。

ご清聴ありがとうございました。

★ ★ ★ ★ ★

### 【スピーチコンテストの全出場者と演題（発表順）】

JONATHAN KEN PUTRA (C・インドネシア)	言語を学ぶこと
蔡惠晴(F・台湾)	未来の世界
NG KAI JIAN (B・マレーシア)	人生で忘れない父の言葉
李朗烽(G・香港)	希望
THAVONPHAN SIRILUK (E・タイ)	4番は不吉な数字だろうか
郭香瑩(A・台湾)	やってやれないことはない
汪栩(H・台湾)	私の部屋のコンビニの袋
郭慧欣(D・香港)	人生は選択だらけ
馮翠玲(E・香港)	漢字ノート
PUAKKRATHOK NAPASORN (H・タイ)	わたしの日本の生活
梁伯榮(B・台湾)	2階に住む奇妙なマカオ人
林威廷(G・台湾)	幸せの定義
LWEE XIAO YU EVELYN(D・マレーシア)	留学を通しての自分の変化
蔣瓊謙(F・台湾)	こんなわがままな私
楊卓文(A・香港)	箱根駅伝の力



## &lt;進学関連&gt;

**卒業生との座談会****今年はようやく完全対面形式で**

5月2日、進学科の在校生と卒業生との座談会を行いました。3年ぶりに卒業生との完全対面での開催が叶いました。3教室に分かれての座談会です。

学部文系の説明会には、国際基督教大学、明治大学に在籍中の2名が来てくれました。学部理系のゲストは東海大学、東京農業大学、芝浦工業大学に在籍中の3名です。「毎日学校に来て、毎日勉強を続けること。学校の授業を大切にすること。オープンキャンパスに必ず参加して大学が自分にあるかどうか感じてほしい!」というのが先輩たちからの共通のエールでした。『継続は力なり』『自ら行動する』という進学科で大切にしてきた信念が確実に受け継がれているのを感じました。

大学院の説明会では、東京都立大学大学院、明治大学大学院、芝浦工業大学大学院に在籍中の3名に加え、青山大学大学院を卒業して現在社会人の卒業生も来てくれました。

先輩からのバトンを受け取った在校生たち、夢の実現のために実行あるのみです!(木村)



★ ★ ★ ★ ★

**大学院志望者による研究計画発表会****今年度1回目は無事に終了、次回は年末に**

7月7日に、「第1回研究計画発表会」を実施しました。この発表会は、進学科の大学院志望者が、自身の研究計画書の内容についてJETの先生方の前で発表するもので、毎年2回、校内で実施している進学科の恒例行事です。今年は10名の学生が院を志望しています。研究計画を人前で発表するにあたって、何度も書き直したものを授業後に練習している学生も多く見られ、この発表会への意気込みを感じました。

発表会では山口校長をはじめ、8名の先生方が一人一人の発表を聞き、研究計画の内容について質問をしました。独特の緊張感がある中で、練習の成果が出せた学生も思うような発表ができなかった学生もいました。初めて参加してくださった先生方からの鋭い指摘やアドバイスに、学生達も熱心に耳を傾けてメモをとったり、発表会終了後にも先生方と話をしたりしていました。

次回の発表会は年末の予定です。1回目の発表での反省を生かし、より貪欲に取り組み、しっかり準備してほしいと思います。(石津)



## &lt;就職関連&gt;

**就職セミナー開講**

恒例就職支援セミナーが5月15日に開講し、11名の学生が計5回の講座を終了しました。

今期もAsia Linkの小野社長と奥山信也先生を講師にお招きし、日本の就職活動の流れを知り、自己分析や模擬面接をしながら履歴書を完成させました。

**企業経営者との意見交換会も**

6月26日には東京商工会議所北支部からきた経営塾塾長佐藤文将様はじめ7名の社長さんをお迎えし、意見交換会をおこないました。参加したJETの学生たちは、「緊張したが、目の前に偉い方がいらっしやると最初怖かったのが少しずつ楽になった。社長さんたちのおかげで自分の成長も見えてくる感じ」「本当に珍しい機会で勉強になった。時間が足りない。もっと積極的に話せばよかった」と感想を述べました。社長さんたちからも自社に外国人材を入れるなら何をどうするか考えているというお声がありました。ご指導ありがとうございました。

今年度(本紙発行時点)は、航空会社、IT会社、不動産会社、旅行会社、製造業の分野で、計6名の学生の内定が確定しています。(得猪)

**日本事情 4 講座開講**

2023年度前期の日本事情の授業は、①「和紙で遊ぼう」(竹川先生)、②「エチュード」(永田先生)、③「ドラマの中へ」(中馬先生)、④「大人の社会科見学」(原先生)の4講座を開講しました。①②は前学期全5回、③④は全4回、いずれも計10時間のカリキュラムです。

④「大人の社会科見学」は、今回新たに開講したクラスです。7月13日に裁判所、7月27日には国会議事堂を見学しました。国会議事堂では、高木啓先生が見学に来た学生達を出迎えてくださるサプライズもあり、大変貴重な経験になりました。

**消費者教育出前講座****消費者庁委託事業 上級クラスで実施**

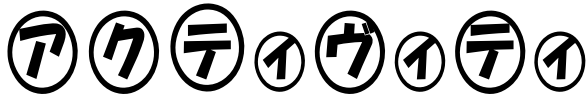
昨年4月に成人年齢が引き下げられ、若者をターゲットにした詐欺被害などが増えています。そこで7月11日にAクラス、12日にDクラスで消費者教育出前講座を実施しました。

当日は、東京都消費生活総合センターの方々を講師としてJETに来ていただきました。インターネットやSNSでのトラブルなど、身近に潜む様々な危険性について教えていただいた後、ワークショップで消費者啓発CMのシナリオを作成しました。参加した学生からは、「難しい日本語もあったけど、よくわかった。これから気を付けたい」「ワークショップや漫才もあって楽しかった」との感想が。

生活の中に潜む危険を意識する良いきっかけになりました。

→啓発シナリオ朗読  
みんな熱演!





### ○能楽鑑賞教室



6月21日、学生9人と国立能楽堂へ行ってきました。狂言は『伯母ヶ酒』、能は『羽衣』が上演されました。独特な言葉が難しく、なんとか話を理解しようと、

みんな席に設置されたモニターと舞台上を食い入るように見くらべていました。日本の伝統文化に触れるよい機会になりました。(森山)

### ○歌舞伎鑑賞教室

6月23日と7月19日、計25人の学生と、歌舞伎鑑賞教室(国立劇場)に行ってきました！6月の「Discover KABUKI」は外国人向けの公演で、事前に英語で登場人物の説明があり、公演中も字幕が表示されるので、初級の学生も安心して鑑賞できます。解説中、中村虎之介さんが客席に降り、立ち止まったのはなんと私たちの真横！「どきどきしました…。水色の着物がとても素敵でした」(蕭さん・香港)

演目は『日本振袖始』。悲しみに打ちひしがれる稲田姫の嘆きや、本性をあらわしていく八岐大蛇のおどろおどろしさ、また、場面や時間の移り変わりを巧みに表現する拍子木や三味線の音色は、言葉以上に響くものがあつたのでしょうか。はじめは字幕を目で追っていた学生も、気づけば瞬きを忘れるほど舞台に釘付けになっていました。(郷野)



### ○国立科学博物館見学

7月14日、進学クラスの理系学生と基礎科の希望者20名を連れて国立科学博物館へ行きました。常設展だけでも「日本館」と「地球館」に分かれていて膨大な展示を見ることが出来ます。館内のスタッフに「小惑星探査機はやぶさ」の説明を受けたり、「フタバズグキリュウ」の復元骨格に感激したり、2時間強と短い時間でしたが充実した体験が出来ました。(私自身は地球館を巡るだけで精一杯…。一日じゃ見きれない！)(森山)



### ○宝登山登山

7月20日、連日猛暑が続く週末、秩父にある宝登山に行ってきました。この日も気温が高かったのですが、山中はそよ風が吹き心地よく登山を楽しめました。今回はサマーコースで在学していた玄奘大学の学生も参加。大学が山の上であり日常的に山を登っている彼らは余裕のある様子でした。山頂直前には200段の階段が待ち構えていて、流石に皆きつそうでしたが、なんとか登頂することができました。下山後は長瀨の石畳まで足を運び解散しました。(森山)



### ○野球観戦

8月3日、東京ドームで巨人対ヤクルトの試合を観戦し、学生24人が参加しました。1点差の白熱した投手戦で、初めて観戦する学生たちも1球1球声を出していました。そんな試合を決めたのはやはり4番とエース。岡本選手の2本のホームラン、戸郷投手の149球の熱投に学生たちも大興奮でした。(石津)



## サマーコース開講 会話コース 対面での実施は4年ぶり

7月3日、夏の短期コース「サマーコース」が開講しました。今年は久しぶりに全面対面での実施です。台湾、香港、マカオ、インドネシア、イギリスから計29人の学生が板橋に集まりました。今回は、3月に教育連携協定を締結した台湾の玄奘大学からも7名の学生が参加しました。

7月31日から8月11日までは「会話コース」を設置し、中級と初級の2コースを開講しました。中級クラスでは学校周辺で日本人に道を聞き、実際にその場所に行ってみるという実践練習をしました。教室の外を飛び出し、練習した日本語がどの程度伝わるのかと緊張していましたが、全員目的地にたどり着くことができました。初級クラスでは、既習の表現を駆使して会話を作り、発表しました。テーマは「いいお店と悪いお店」。笑い声の響く楽しい発表会になりました。



17月に入学した学生たち。みんないい笑顔です。



夏だ!浴衣だ!

## 花火大会だ!

7月25日、江戸川河川敷で行われた葛飾区納涼花火大会に行ってきました。

花火大会と言えば「浴衣」。まずは7月10日、校内の希望者を対象に浴衣の着付け教室を開きました。講師は卒業生のミッセルさん(香港)。着付け教室には男女計12名が参加しました。手順に悪戦苦闘しましたが、上品に着こなせました。

花火大会当日、午前の授業が終わるとすぐに場所取り担当の学生は会場へ。炎天下の中、長時間にわたってみんなのために活躍してくれました。その後、続々と学生たちが集まり、最終的には約80名もの学生が会場に集いました。

日もとっぴりと暮れ、いよいよ花火大会スタート!今年は4年ぶりの開催ということで、例年より7000発も多い2万発の花火が打ち上げられ、迫力満点!

美しく咲く夜空の花が、日本での夏の思い出の1ページを彩りました。



## 専門学校での体験授業

### ○ヒコ・みづのジュエリーカレッジ

7月5日、専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジから講師の先生をお招きして、ドローイングジュエリーを作る体験授業に18人が参加しました。自分の書いたイラストが可愛いバ



ッジや指輪になり、世界で一つだけのアクセサリを作り上げた学生は皆満足そうに笑顔で作品を見せてくれました。(木村)

### ○東京製菓学校

7月24日、東京製菓学校でのパン作り体験授業に、学生25人が行ってきました。募集定員を超えていたのですが、東京製菓さんのご厚意により全員に体験の機会をいただきました。

授業では、パティシエの帽子とエプロンをつけ気分はすっかりパン職人。パンを作る工程を知り、自分で作る作業を体験し、ものづくりの大切さを肌で感じたようでした。おみやげの「田舎風パン」、いただきました。美味でしたよ!(木村)



## 大学生との交流

### ○早稲田大学の学生らとの交流会



7月10日、早稲田大学国際交流サークルWICの学生6人をJETにお招きし、留学生27人と交流会を行いました。参加した学生の多くが初級クラスや夏の短期コースの学生でしたが、

日本語だけで一生懸命話そう、伝えようとする姿が見られました。また、6月に行われたWIC主催のショートホームステイで面識のある学生も多く、「お久しぶりです!皆さんが元気で、そしてまた会えて嬉しいです」と、再会を喜んでいました。(郷野)

### ○明治大学の学生との交流会

8月9日、会話コースの目玉授業として、大学生との交流会を行いました。今年は国際交流サークルSNIEから、明治大学の学生11名がJETに来てくれました。初級クラスも中級クラスも、国の紹介やゲームを事前に準備して、日本語で一生懸命に話していました。

## ホームステイ

### OHIPPOファミリークラブ ホームステイ

5月20、21日、ヒッポファミリークラブ主催の「週末1泊ホームステイ」に、台湾人学生4人が参加しました。

顔合わせでは、ホストファミリーの皆さまが手作りウェルカムボードを手に、あたたかく迎えてくださいました。子どもたちの元気な挨拶に、学生の表情もほぐれていきました。

参加した学生からは「すごく楽しかったです。お子さんたちと一緒に百人一首をしたり、手巻き寿司を作ったりして、貴重な体験ができました!家族の皆さんに心から感謝しています。」との感想が。初級の学生も、勉強した日本語をたくさん使って、地域の皆さんとの交流を楽しみました。(郷野)



### OWIC ショートホームステイ

6月18日、早稲田大学国際交流会WIC主催のショートホームステイに、26人の学生が参加しました。5月25日には最初のミーティングが開かれ、食事を楽しみながら旅程を立てました。天気が心配でしたが、夏至が目前に迫った当日はカンカン照りの梅雨晴れ。丸一日遊びつくしました。準備の一月間に度々交流し、親睦も深まったようです。参加した学生が、「また大学生と遊ぶ約束をしました!」と嬉しそうに報告に来てくれました。(郷野)

# JET、35年の歩み (後編)

## 2005年

4月 金美齡理事長就任

## 2006年

10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第2期20名受入れ

11月9日 周英明前理事長が永眠

## 2008年

4月 環境大臣の要請でツバルから留学生2名受入れ。卒業後(2010年)に環境大臣から感謝状が贈られた。(右写真)



秋 リーマンショック。

この頃より韓国の学生の減少著しい。

## 2009年

春 新型インフルエンザ流行

## 2010年

5月 行政刷新会議による事業仕分けで、日振協の審査・証明事業が廃止される。

7月 在留資格「就学」が「留学」に一本化される。

## 2011年

3月11日 東日本大震災

4月 入学辞退者が相次ぎ、在籍者数45名に落ち込む。

## 2012年

10月 ODOS第3期10名受入れ。インドネシア人留学生の本格的受け入れ開始。

## 2014年

3月 EPA(経済連携協定)による介護福祉士候補生の日本語教育を、埼玉の医療機関から受託。(2020年まで4期、のべ33名)

4月 越野宏博理事長就任。井上校長は専務理事兼任。

10月 金美齡名誉理事長が東京都の教育功労者として表彰される。

12月 ODOS第4-1期8名受入れ。

## 2015年

10月 ODOS第4-2期4名受入れ。

## 2017年

8月 新告示基準施行、JETは別表1-1(適正校)。

11月 金美齡名誉理事長が、日本語・日本文化普及の功績により旭日小綬章を受章。

## 2018年

2月7日 帝国ホテルで安倍晋三首相らを招き、創立35年と叙勲記念のパーティー

(感謝のタペ)を開催(右写真)



5月 井上校長が文化審議会日本語教育小委員会の委員に就任。(2022年3月まで)

## 2019年

5月 浮島智子文部科学副大臣がJETを視察。

6月 日本語教育推進法が公布・施行

## 2020年

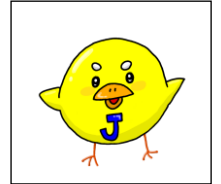
2月ごろ 新型コロナウイルス感染拡大始まる。(2023年春ころほぼ収束。)

4月 オンライン授業開始

8月 JETのマスコットキャラクター

「ジェッピー」誕生。(右図)

デザインは郷野真彩。



## 2021年

4月 山口閑子副校長が校長に就任

5月 在籍数が65名。うち3分の1は、入国できないため自国からオンラインで受講。

6月 井上前校長が専務理事に再任

7月 東京オリンピック。北区日本語教室において、山口校長が講師・コーディネーターを務める。

## 2022年

2月 日本語学校卒業後に就職活動をするための「特定活動」ビザがJETで取得可能となる。

2月24日 ロシアがウクライナを侵攻

4月 ホームページを全面リニューアル

6月 自民党議員団(日本語教育の今後の方向性に関する検討プロジェクトチーム)がJETを視察

7月8日 安倍元首相暗殺される

7月 文化庁の「ウィズコロナにおけるオンライン日本語教育実証事業」においてJETの6コースが採択。

10月 東京出入国在留管理庁より在籍管理優良校に選定される。入国制限が大幅に緩和されたことで、在籍者数が回復し120名余りに。

## 2023年

3月25日 台湾の玄奘大学と教育連携協定締結(下写真)



## 35年間の修了生 2114人

大学等への進学は1410人

1988年4月の開校以来、2023年3月までに2,114人(うち準備教育課程は538人)が修了しました。また、高等教育機関への進学者は1,410人に上りました。(大学院210人、大学603人、短期大学31人、専門学校566人)



## 繋がる ～かけがえのないホームステイの思い出～

ライ・ライ・フォン・エミリー(マレーシア・2015.9卒)

私は現在クアラルンプールの病院で、日本語スタッフとして日本人の患者さんのお世話をしています。卒業してからあつという間に8年が経ちました。時の流れを実感しています。

今年5月26日から6月10日まで日本を訪れ、留学中にお世話になったホームステイのホストファミリーに再会しました。皆さんの元気な姿を見ることができて本当に安心しました。胸がいっぱいで言葉にできないほどの嬉しさでした。

ホストファミリーのお父さんとお母さんたちに最後に会ったのは2017年10月でした。また会いましょうね、と再会を待ちわびていましたが、コロナ禍でずっと日本に行くことが出来ませんでした。非常に残念な思いでした。

ですから、今回久しぶりに再会でき、一緒に充実した素晴らしい時間を過ごせて、自分にとってかけがえのない思い出となっています。

私が留学中に参加したホームステイは二つです。2014年の大みそかからお正月にかけて行われた東京・北区主催の「北区一泊ホームステイ体験」と、2015年3月に2週間のプログラムで行われた鹿児島県でのホームステイ(NPOからも交流主催)です。



↑北区のホストファミリーと

北区と鹿児島のホームステイ体験は終わりましたが、お付き合いの終わりではなく、絆の始まりだといつも思っています。

マレーシアに帰国する前に再訪したことがあります。帰国後もずっと、北区のホストファミリーとは国際電話やスカイプ、Eメールで、鹿児島のホストファミリーとはライン電話で定期的に連絡を取っています。毎回尽きないほどの話があり、いつもおしゃべりを楽しみにしています。



2017年2月の中華正月、鹿児島のホストファミリーが団体旅行で、わざわざマレーシアに会いに来てくれたことがあって、感動でいっぱいでした。クアラルンプールの観光スポットを案内し、現地の料理を食べてもらい、家族の皆さんと一緒に中華正月の定番お節料理(イーサン)も食べました。

同年の10月には、私がまた日本に行って二つのホストファミリーを訪れました。

今回の日本訪問は6年ぶりです。10日間は東京、5日間は鹿児島のお宅で泊まらせてもらい、とても楽しい時間を過ごせました。マレーシアから持っていた調理パックなどを使ってマレーシア料理を作りました。喜んでもらえて何よりでした。

今振り返ると、日本留学当初は、自分が知らない言葉をゼロから学んで大変でした。それが、ホストファミリーに鍛えてもらったおかげで、たわいもない話から徐々に悩みの相談や深いコミュニケーションまでできるようになりました。

今では病院で日本人のサポートをする際、相手の表情、口調から相手の思いを読み取れるようになりました。

私は38才で留学を決意し、日本に行きました。最初は失敗を繰り返し、挫けそうになりましたが、日本人と仲良くなりたいという強い気持ちを持って諦めず勉強し続け、今の自分がいます。これからもマレーシアと日本の架け橋になれるように努力したいです。

やりたいと思ったら何才からでも始められます。みなさんには実際に留学し、より素晴らしい経験をしてもらいたいです。

最後に、日本語に巡り合わせてくださった神様、そしてお世話になった校長先生をはじめ先生方、ホストファミリーに感謝いたします。日本語を学んで本当によかったです。

## 学 校 日 誌

- 5月2日 進学科座談会(3面)
- 5月12日 遠足(1面)
- 5月15日、22日、6月12日、19日 就職セミナー(3面)
- 5月20日 Hippo ファミリークラブ主催 ホームステイ(5面)
- 5月21日 北区民オーケストラ
- 5月26日 JLPT チャレンジ模試
- 6月7日～9日 小石川中 職場体験
- 6月21日 能楽鑑賞教室(4面)
- 6月22日 理事会・評議員会
- 6月23日、7月19日 歌舞伎鑑賞教室(4面)
- 6月23日、7月7日、21日 日本語教室(順天高校)
- 6月26日 就職セミナー「企業経営者との意見交換会」(3面)  
ストリートファニチャーペインティング(8面)
- 7月2日 JLPT
- 7月3日 サマーコース開講(4面)
- 7月4日～6日 紅葉中 職場体験
- 7月5日、24日 専門学校体験授業(4面)
- 7月6日 茶道体験
- 7月7日 研究計画発表会(3面)  
避難訓練
- 7月10日、8月9日 大学生との交流会(5面)
- 7月10日 浴衣の着付け教室(5面)
- 7月11日、12日 消費者教育出前講座(3面)
- 7月14日 国立科学博物館(4面)
- 7月17日 高田馬場管絃楽団 コンサート
- 7月18日 専門学校志望者に向けた校内ガイダンス
- 7月22日 宝登山 登山(4面)
- 7月25日 花火大会(5面)
- 7月28日 スピーチ大会(1面・2面)
- 7月31日～8月11日 会話コース(4面)
- 8月3日 野球観戦(4面)
- 8月21日 夏休み終了、授業再開
- 8月31日 基礎科 期末試験

## 校内外のトイレをリニューアル!

夏休みに、学校のトイレの改修工事を行い、3階と4階のトイレをリニューアルしました。男女ともに、温水洗浄機能付きのあたたかい便座に変更。女子トイレは4階に個室を1室増やし、計5室になりました。また、トイレ内の手洗い場の水道はセンサー式に。手を近づければ自然に水が出てきて、とても衛生的です。



←3階の男子トイレ

↓4階の女子トイレ



## 地域との交流

郷野真彩

『つながり』を広める」(JET 通信 100 号年頭挨拶より)。新型コロナウイルスが猛威を奮っていた最中、学校として掲げていた目標の一つが、これまで JET が大切にしてきた地域や業界とのつながりをさらに社会へと広げていくことでした。コロナ禍における制約が緩和され、日常が戻りつつある今、「新しいつながり」が学生を主体にどんどん広がっています。



### OCCC

Cleanup & Coffee Club、通称 CCC は、豊島区を中心に、各地のコミュニティ拠点で週末の朝に行われている活動です。地域の多世代・多様な人が集まり、ごみ拾いした後、みんなでコーヒーを飲みます。ごみ拾い活動がアイスブレイクとなって会話が生まれ、自然と交流が深まるのが魅力です。

この、ゆるさとあたたかさに触れ、学校以外の居場所づくりに繋がればと思い、今年の 5 月に学生に声をかけてみたところ、直前の告知でしたが 15 人もの学生が来てくれました。地域の皆さまも、留学生の参加を快く受け入れてくださいました。休日の朝に早起きして活動する爽快感からか、生の日本語に触れられた喜びからか、その後も継続的に参加する学生が多く、これまでに 31 人の学生が CCC に来ています。そのうち 13 人は 4 月、または 7 月に勉強を始めたばかりの初級の学生。参加回数最多の何さん(台湾)も、その一人です。

「CCC は、日本語を話せるいいチャンスです。週末の朝に早起きして、太陽の下でごみを拾うのは大変ですが、やりがいがあると思います。」と語りました。



### ○池袋 ペイントワークショップ



6 月 26 日、池袋のグリーン大通りにあるストリートファニチャーのペイントワークショップに、学生 8 人と参加してきました。CCC をきっかけに、町の方にお声掛けいただきました。

日差しの強い日でしたが、学生たちは黙々と作業を進めていました。塗装が終わったあと、素敵な案をいただき、各国語での注意書きを書かせていただくことに。英語、中国語、タイ語で「塗りたて注意」と書いた紙をファニチャーに貼りました。ストリートファニチャーは 2025 年ごろまで設置される予定です。池袋へいらっしゃる際はぜひご覧ください。

### ○ビーズブレスレット ワークショップ

7 月 8 日、JET から徒歩 1 分のところにある「滝野川フレイムス」(古民家カフェ兼レンタルスペース)にて開催されたビーズブレスレットのワークショップに、こちらで CCC でのご縁で、学生 6 人と参加してきました。

主催者の健也(KENYA)さんが 8 月にケニア(KENYA)の小学校へボランティアに行くということで、子どもたちに贈る、日本国旗入りのビーズブレスレットを作りました。細かい作業でしたが、10 分もするとすっかり没頭し、丁寧かつ手際よく、ブレスレットを完成させていました。



フレイムスの管理

人である河田さんに淹れていただいたコーヒーをいただきながら、心落ち着く茶の間でものづくりをし、すてきな休日の朝を過ごすことができました。

また、7 月 16 日にも、女子学生 3 人が同ワークショップに参加しました。

## 金美齡名誉理事長をお出迎え

### 台湾でミニ同窓会

7 月 12 日～17 日、山口校長と得猪で台湾に出張し、四都市計 8 回の日本留学説明会をおこないました。JET の海外出張は毎回卒業生やゆかりの人たちとの再会が楽しみで、7 月 16



日夜にはミニ同窓会(呉杰会長、林松佑事務局長)も設けられました。ちょうどその夜、金美齡名誉会長の台湾到着情報を聞きつけ、同窓会を終えたメンバー有志で松山空港に駆け付け金先生をお出迎えする一コマもありました。思わぬ展開に金先生もびっくり。約 20 年ぶりに再会した卒業生もいて、夜の閑散とした空港に歓声が響きました。

↑金美齡名誉理事長。松山空港にて。

JPTIP 主催の台北・台中・高雄説明会では JET ブースは相談者が後を絶ちません。前日高雄会場で手伝ってくれた黄煜凱さん(1999 年卒)がサプライズで翌日台北会場にも現れるなど(実は用事があったそうです)、卒業生の応援はつとに JET の伝統文化となっていますね。また、日学館留学センター(台北)、嵐特外語留学中心(台中)、高平日語(嘉義)では留学説明会とともに日本文化を学ぶ一環として計 25 名が茶の湯体験をおこないました。日本から持参した抹茶とちいさいお菓子で一服するだけで場が和み、留学相談やなにげないおしゃべりに花が咲きます。コロナ明け、4 年ぶりの台湾出張でしたが、20 余年前の卒業生から、これから留学する予定の学生たちまで JET をとりまく大きな空間と時の河の流れをあらためて感じた数日間でした。(得猪)



## 6月の日本留学試験(EJU)結果

## 進学クラス平均 267.6 点

世界平均を 32.3 ポイント上回る

「日本語」校内ベスト 5 (400 点満点)				
順位	クラス	氏名	出身	得点
1	A	陳 凱琳	香港	358
2	A	譚 志瀝	マカオ	355
3	A	關 力恒	香港	346
4	A	林 橋崴	台湾	342
5	A	蔡 冠廷	台湾	334

## 校内トップは香港の学生

6月18日に世界74の国・地域で実施された2023年度第1回日本留学試験(EJU)の結果が、7月下旬に発表されました。

国内外の総受験者数は22,602人でした。(2021年は16,167人、2022年は13,930人)

今年度は進学クラスが3クラス体制ということもあり、校内からの受験者が多く、在校生計45人(うち進学クラス39人)が試験に挑みました。

試験の結果、陳凱琳さん(香港)が日本語で358点を獲得し、校内トップでした。世界最高点は374点でした。

進学クラス(A、B、C)の平均点は267.6点で、全受験者の平均235.3点を32.3ポイントも上回る好成績でした。

## 「読解」で世界最高点

得点状況を分野別に見ると、「読解」(200点満点)では、陳凱琳さん、關力恒さん(香港)が世界最高の198点を獲得しました。

進学クラスの平均は148.8点で、全受験者の平均134.4点を14.4ポイント上回りました。

## 「聴読解・聴解」でも世界最高点

「聴読解・聴解」(200点満点)でも、譚志瀝さん(マカオ)が世界最高の176点をマークしました。次いで陳凱琳さん、Shrestha Kenishさん(ネパール)が160点を記

録しました。

進学クラスの平均は118.8点で、全受験者の平均100.9点を17.9ポイント上回っています。

## 校内受験者の8割が200点以上

日本語能力試験(JLPT)のN2レベル相当とされる200点以上を獲得したのは、45人中36人でした。

「記述」(50点満点)の進学クラスの平均点は39.2点でした。

## 基礎教科でも好成績

EJUでは、日本語の他に数学や理科などの基礎教科の試験もありますが、理系の分野では、呉語瀚さん(台湾)が「数学」、「物理」、「化学」の合計(400点満点)で校内最高の277点を獲得しました。

また、文系の分野では、林橋崴さん(台湾)が「総合科目」(200点満点)で校内最高の150点でした。

## 7月の日本語能力試験(JLPT)結果

## N1 校内最高は 179 点

N1 校内ベスト 5 (180点満点)					N2 校内ベスト 5 (180点満点)				
順位	クラス	氏名	出身	総合点	順位	クラス	氏名	出身	総合点
1	A	林橋 崴	台湾	179	1	B	李人奕	台湾	180
2	A	陳凱琳	香港	164	1	D	LWEE XIAO YU EVELYN	マレーシア	180
3	A	楊卓文	香港	163	3	A	關力恒	香港	170
4	D	郭慧欣	香港	162	4	B	吳語瀚	台湾	168
5	D	RYAN CHEN GUO MING	マレーシア	142	5	B	梁伯榮	台湾	167

7月2日に実施された2023年度第1回日本語能力試験(JLPT)の結果が、8月下旬に発表されました。JETからは、N1からN3まで合計82人が受験しました。

## N1 トップは台湾の学生 合格人数は昨年7月の2.3倍

N1では31人が受験し、16人が合格しました。昨年7月と比べて、合格した学生数は2.3倍にも増えました。合格率は51.6%でした。校内平均点は107.3点でした。

校内トップは林橋崴さん(台湾)の179点で、満点には1点届かなかったものの、輝かしい成績を収めました。

残念ながら不合格だった学生たちの半数は90点以上を獲得していました。今回は合格を逃しましたが、次回はきっと素晴らしい結果に繋がることでしょう。

## N1 各分野でのべ9人が満点

各分野で満点(60点)だったのは、のべ9人でした。「言語知識」の分野では校内トップの林さん、楊卓文さん(香港)の2人。「読解」の分野では、林さん、楊さん、郭慧欣さん(香港)、洪偉軒さん(台湾)の4人。そして「聴解」では、郭さん、RYAN CHEN GUO MINGさん(マレーシア)の2人が満点でした。

## 2人がN2満点合格

N2では、李人奕さん(台湾)とLWEE XIAO YU EVELYNさん(マレーシア)が満点の180点で合格しました。2人とも4月にJETに入学したばかりの新入生です。

校内からは36人が受験し、27人が合格しました。合格率は75.0%でした。校内平均点は118.0点で、昨年7月の校内平均点を2.3ポイント上回りました。

## 初級から9か月でN2合格

N2の合格者27人のうち11人は、前学期(2022年度10月期)初級クラスだった学生です。準備期間が短い中で努力し、大きな成長を遂げました。

## N2も各分野で満点続出

分野別に得点を見ると、「言語知識」の分野で3人が満点でした。「読解」では5人が、「聴解」では9人が満点を獲得しました。(各分野とも60点満点)

N3では、15人が受験し、12人が合格しました。合格率は80.0%でした。校内最高点は、許悦さん(香港)の155点でした。校内平均点は106.8点でした。

(日本語能力試験の合格ラインは、いずれの級も180点満点中、N1が100点、N2が90点、N3が95点、N4が90点、N5は80点です。)